

東大野球部 メールマガジン Vol.230

ごあいさつ

早いもので外にはクリスマスソングが流れる季節になりました。寒い日が続いておりますが、穏やかで幸せなクリスマスになる事をお祈りします。

弊部は22日に練習を納め、冬季オフ期間に入りました。心身ともにしっかり休み、来年リーグ戦で勝ち点奪取できますよう準備してまいります。

今後とも東大野球部をどうぞよろしく願いいたします。

今回の特集 「クリスマスの思い出」

今回の特集は、「クリスマスの思い出」です。選手と学生コーチに懐かしのクリスマスの思い出を語ってもらいました。

平山 皓太 (3年・投手・栄光学園)

クリスマスの思い出といえば、サンタさんの思い出です。小学2年生の僕はサンタさんにプレステーション2を頼みました。彼なら確実に持ってきてくれるだろうと胸を踊らせていました。12/25朝、僕の枕元にプレステ2がちょうど入るくらいの大きな袋が置いてありました。さすがサンタ。本当にいやつだな、と思って開けたその袋の中身は5冊の分厚い本でした。

サンタさんは国語が苦手な僕のために素敵なプレゼントをしてくれたのです。

サンタさん。愛しています。



有賀 雄野 (3年・学生コーチ・都立西)

分かりやすく受験生向けに、僕の高校3年生のクリスマスを書きます。センター試験に向けた勉強が苦痛で仕方なかったのは覚えています。本番が迫る焦りと異常なつまらなさでもう最悪でした。人生でもいちばん苦痛な期間でしたが、今となってはいい思い出です。受験生のみなさん、この時期は苦しいと思いますが、その分学ぶことも多いと思います。頑張ってください。



奥田 勇 (2年・捕手・鶴岡南)

高3のときのクリスマスの話です。受験が近くなり、皆ピリピリした雰囲気になりつつあった朝のホームルームのことでした。朝の挨拶をした後、担任の先生は真剣な顔で「皆が一生懸命頑張っている中でこんな話をするのは申し訳ないのだが」と話し始めました。不穏な空気に包まれましたが、その直後

に「皆より一足先に幸せにならせてもらうことにしました」と続け、入籍を報告しました。3年間お世話になった大好きな先生のおめでたい報告は、僕にとって何よりも嬉しいクリスマスプレゼントでした。



守屋 大地 (1年・捕手・暁星)

クリスマスといえば、やっぱりサンタさんですね。みなさんはサンタさんを信じていますか？僕は信じています。なぜなら僕は見たことがあるからです。あれは小学3年生の時のことです。僕はサンタさんに好きな物を書いた手紙を綴り、温かい紅茶をマグカップに入れて枕元の棚に置いておきました。その日はサンタさんの正体を見破ってやろうと思い、夜遅くまで寝たふりをして起きていました。深夜1時を回り、急に物音がなりました。僕はやっときたと思って、心踊りました。そして意を決して布団を剥いで目を開きました。その時目の前には、(続く)

ということで乞うご期待です。



月原 大喜 (1年・外野手・県立川越)

あれは高3のクリスマスでした。僕は彼女と都内某所のイルミネーションへ行きました。僕たちはプレゼ

ントを交換し、志望校合格をお互いに祈りました。しかし僕たちのプレゼントは、全く同じ合格祈願のおまもり。僕たちは笑いながらお互いの合格を祈りあいました。

ここまでお読みいただいた方々、申し訳ありません。これは全て嘘であります。(高校時代僕に彼女などいたことはありません。)読者の皆さんが、素敵なクリスマスの思い出をつくれることを願っています。メリークリスマス。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「新年の抱負」と題して、幹部より、2020年の意気込みや決意を含め新年のご挨拶をさせていただきます。1月は予定を変更し、第3・第5水曜日に配信いたします。どうぞお楽しみに！

今年も大変お世話になり、有難うございました。皆様も穏やかな年末年始お過ごしください。また、来年も東大野球部をよろしく願っています。

お問い合わせ先

〒113-0032

東京都文京区弥生 1-1-1 東大球場

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等ございましたら上記連絡先までご連絡ください。